

施設名	ぶどうの家	所在地	大字日滝327番地			
施設分類	障害福祉施設	所管課	福祉課			
財産区分	行政財産	延床面積（㎡）	339			
居住誘導区域	該当	防災関連施設	非該当			
設置根拠	須崎市障害福祉サービス事業所設置条例	設置の目的・経緯	就労することが困難な在宅の障がい者の特性に応じた作業訓練を行い、福祉の増進を図る。		交通アクセス	長電バス（山田温泉線） 大谷入口バス停から徒歩 3 分
事業内容	就労継続支援B型事業所	貸付の有無	無			
管理運営の状況	指定管理	委託内容	就労継続支援B型事業所としての業務			
備考（その他特記事項）						

階数 (主たる建物)	地上	1	地下	建築面積		延床面積	339
構造 (主たる建物)	鉄骨平屋			建築年度 (主たる建物)	1996	築年数 (主たる建物)	29
帳簿原価	82,310,260			耐震化の状況		新耐震基準施設	
減価償却累計額	73,724,992			バリアフリー対応		○	
老朽化率	90.0%			省エネルギーの対応状況		照明を一部LEDへ変更済	
過去10年の改修費用	425,260			施設の劣化状況			
維持管理・更新投資の充足度	0.6%						

3 施設コスト

単位（千円）

費用		2023	2024	2025	3年間の平均値
	人件費	0	0	0	0
	委託料	0	0	0	0
	光熱水費	0	0	0	0
	維持補修費	312	0	0	104
	減価償却費	2,457	2,457	2,485	2,466
	指定管理料	4,312	4,519	4,519	4,450
	その他	1,000	1,000	1,000	1,000
費用合計		8,081	7,976	8,004	8,020

収入	利用料等収入	0	0	0	0.0
	国庫補助金等収入	0	0	0	0.0
	その他	0	0	0	0.0
収入合計		0	0	0	0.0

収支	-8,081	-7,976	-8,004	-8,020
利用者一人当たりコスト	4.49	3.99	3.90	4.12

修繕履歴	金額	127	内容	2020年度コンセント修繕 昭明器具修繕
	金額	222	内容	2021年度 照明器具修繕 看板修理
	金額	312	内容	2023年度 LED化工事 便座交換
	金額	1,210	内容	2025年度 エアコン取付
改修履歴	金額	1,413	内容	2024年度アルミパーテーション設置及び給排水設備工事
今後10年間での大規模改修費用		30,769千円（2024年度実施の適正管理基本調査結果より）		

4 施設利用状況

利用対象	特定の人（団体）に限定されている	
開館時間	平日	午前8時30分～午後5時15分
	休日	-
休館日	土日祝日	
駐車場の有無	有	

	2023	2024	2025	3年間の平均値	平均と2025の比較
年間利用者数	1,798	1,998	2,050	1,949	5%
年間利用可能人数	4,860	4,860	4,860	4,860	0%
利用率	37%	41%	42%	40%	5%
（参考）年間目標利用人数					
年間利用時間					
年間利用可能時間					
稼働率					

公共施設評価結果シート

施設名施設名称	ぶどうの家
---------	-------

1 各評価

(1) 経費効率に関する評価

評価項目	評価	点数	評価基準
3か年の管理運営経費と利用者数による相対的評価	E	-2	他施設と比較してかなり多い（200%以上）
合計		-2	

【評価基準】

評価項目	評価	点数	評価基準
3か年の管理運営経費と利用者数による相対的評価 (当該施設の経費÷当該施設の利用人数) (市民利用全施設の経費÷市民利用全施設の利用人数)	A	2	平均と比較してかなり少ない（50%未満）
	B	1	平均と比較して少ない（50%以上100%未満）
	C	0	平均と比較し同規模（100%以上150%未満）
	D	-1	他施設と比較して多い（150%以上200%未満）
	E	-2	他施設と比較してかなり多い（200%以上）

(2) 必要性に関する評価

評価項目	評価	点数	評価基準
利用者数	B	1	過去3か年平均と比較して、同等・やや増えた（0%以上）
利用者の多様性	B	-1	現在の利用者が、特定の人（団体）に限定されている
貸館稼働率			
合計		0	

【評価基準】

評価項目	評価	点数	評価基準
利用者数	A	2	過去3か年平均と比較して、増えた（10%以上）
	B	1	過去3か年平均と比較して、同等・やや増えた（0%以上）
	C	-1	過去3か年平均と比較して、やや減った（-5%以上）
	D	-2	過去3か年平均と比較して、減った（-10%以上）
利用者の多様性	A	1	現在の利用者が、特定の人（団体）に限定されていない
	B	-1	現在の利用者が、特定の人（団体）に限定されている
貸館稼働率 【B】パターン	A	2	過去3か年平均が50%以上
	B	1	過去3か年平均が20%以上50%未満
	C	-1	過去3か年平均が10%以上20%未満
	D	-2	過去3か年平均が10%未満

(3) 施設老朽度に関する評価

評価項目	評価	点数	評価基準
老朽化率	C	-1	75%以上100%未満
耐震性能	A	2	新耐震基準施設（昭和57年以降に建設された施設）
バリアフリー	A	1	車いすでの移動が可能
合計		2	

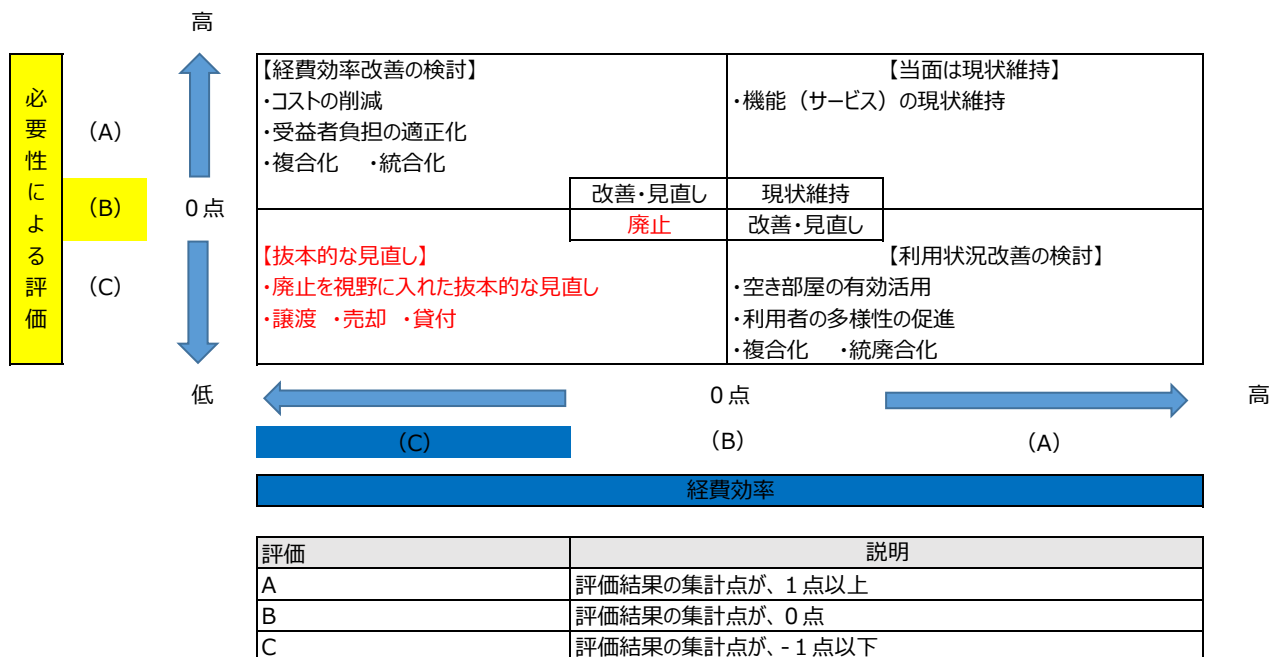
【評価基準】

評価項目	評価	点数	評価基準
老朽化率	A	2	50%未満
	B	1	50%以上75%未満
	C	-1	75%以上100%未満
	D	-2	100%
耐震性能	A	2	新耐震基準施設（昭和57年以降に建設された施設）
	B	2	耐震改修不要（昭和56年以前に建設された施設で、耐震診断の結果耐震改修不要）
	C	2	耐震改修済み（昭和56年以前に建設された施設で、耐震改修済）
	D	-2	耐震診断未実施（昭和56年以前に建設された施設で、耐震診断未実施）
	E	-2	耐震改修未実施（昭和56年以前に建設された施設で、耐震改修未実施）
バリアフリー	A	1	車いすでの移動が可能
	B	-1	車いすでの移動が困難

2 経費効率と必要性の評価からソフト面における施設の評価します

横軸	経費効率による評価	-2
縦軸	必要性による評価	0
	合計点数	-2

【抜本的な見直し】



3 ソフト面における評価と施設の老朽化度（ハード面）の評価から最終的な施設の方向性を導きます

横軸	老朽化度からの評価	2
縦軸	必要性和経費効率からの評価	-2
	合計点数	0

【複合化等の検討】

